



2023年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月4日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社エスプール
コード番号 2471 URL <https://www.spool.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦上 壮平
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 佐藤 英朗 TEL 03-6859-5599
四半期報告書提出予定日 2023年10月11日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第3四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第3四半期	19,352	△3.3	2,056	△9.6	2,113	△7.0	1,385	△4.1
2022年11月期第3四半期	20,019	11.0	2,274	17.7	2,272	16.7	1,444	14.0

(注) 包括利益 2023年11月期第3四半期 1,383百万円 (△6.3%) 2022年11月期第3四半期 1,484百万円 (15.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第3四半期	17.53	—
2022年11月期第3四半期	18.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年11月期第3四半期	19,600	8,181	41.8	103.67
2022年11月期	17,030	7,429	43.7	94.14

(参考) 自己資本 2023年11月期第3四半期 8,190百万円 2022年11月期 7,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2023年11月期	—	0.00	—	—	—
2023年11月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,288	6.1	3,620	17.1	3,596	15.3	2,427	34.2	30.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年11月期3Q	79,007,500株	2022年11月期	79,007,500株
② 期末自己株式数	2023年11月期3Q	3,855株	2022年11月期	3,855株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年11月期3Q	79,003,645株	2022年11月期3Q	79,003,645株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより行動制限等が緩和され、消費活動に回復の兆しが見え始めました。一方で、ウクライナ情勢の長期化、原材料・エネルギー価格の高騰によるインフレ圧力の高まり、世界的な金融引締め等による景気後退リスクなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループについては、ビジネスソリューション事業では主力の障がい者雇用支援サービスや急成長中の環境経営支援サービスを中心に堅調に推移しましたが、人材ソリューション事業ではコールセンター業務におけるスポット案件の反動減の影響等により売上減少が続いており、当第3四半期連結累計期間の業績は前年実績を若干下回ることとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,352百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益は2,056百万円（前年同四半期比9.6%減）、経常利益は2,113百万円（前年同四半期比7.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,385百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

なお、当社グループは、社会的価値と経済的な価値の両立を実現することを中期的なビジョンとし、①「既存事業の深堀りによるオーガニック成長の継続」、②「新たな事業領域における成長機会の獲得」、③「ESGを軸とした経営基盤の強化」の3点を重点戦略として定めております。

2023年11月期第3四半期連結累計期間 連結業績

(単位：百万円)	2022年11月期 第3四半期	2023年11月期 第3四半期	増減率
売上高	20,019	19,352	△3.3%
営業利益	2,274	2,056	△9.6%
経常利益	2,272	2,113	△7.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,444	1,385	△4.1%

当第3四半期連結累計期間のセグメント経営成績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

[事業概要]

ビジネスソリューション事業では、シニアや障がい者など潜在労働力の活用を支援するサービスや、企業の業務の一部を受託するアウトソーシングサービスを提供しています。前者においては、株式会社エスプールプラスが、障がい者の就労に適した農園を企業に貸し出し、主に知的障がい者の採用・教育から定着までを支援するサービスを行っています。株式会社エスプールでは、様々な経験やノウハウを有するシニアを企業の経営課題や業務課題の解決に役立てるサービスを提供しています。

後者のアウトソーシングサービスでは、株式会社エスプールロジスティクスが、通販商品の発送を代行する物流サービスを行っています。株式会社エスプールリンクは、アルバイトやパートの採用業務の一部を代行するサービスを提供しており、株式会社エスプールセールスサポートでは、対面型の会員獲得業務や販売促進業務を行っています。ブルードットグリーン株式会社は、温室効果ガス（GHG）排出量の算定や環境情報の開示に関するコンサルティング、カーボンオフセット仲介など、企業の環境経営を支援するサービスを提供しています。株式会社エスプールグローバルでは、複数の自治体の行政業務を一括で受託する広域行政BPOサービスを行っています。

[当第3四半期連結累計期間の経営成績]

障がい者雇用支援サービスについては、営業活動は全体的に好調だったものの、受注が関東の農園に集中した結果、同地域での供給が当第3四半期では追い付かず、設備販売は計画を若干下回ることとなりました。ロジスティクスアウトソーシングサービスにおいては、7月に千葉県流山市にセンターを新設しましたが、立ち上げに伴う一時費用が発生したほか、安定稼働のため人員を手厚くしたことにより、当第3四半期は一時的に営業損失が発生しました。採用支援サービスについては、サービス関連などを中心に人手不足感が広範な業種で継続しており、同サービスも回復基調が続きました。広域行政BPOサービスにおいては、第2四半期に開設したBPOセンターの稼働率が向上したことなどにより、売上は順調な伸びとなりました。環境経営支援サービスについては、CDPの回答支援業務の受注が好調に推移したことで大幅な増収増益となり、当第3四半期で通期計画にほぼ到達することができました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,082百万円（前年同四半期比25.4%増）、営業利益は2,304百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

②人材ソリューション事業

[事業概要]

人材ソリューション事業は、人材派遣サービスを主力とする株式会社エスプールヒューマンソリューションズが提供するサービスで、コールセンター等のオフィスサポート業務とスマートフォンや家電製品等の店頭販売支援業務、ホテル業など接客業務に関する人材サービスを展開しています。サービスの特徴は、フィールドコンサルタント（FC）と呼ばれる同社の従業員と派遣スタッフをチームで派遣する「グループ型派遣」の形態を採用している点になります。派遣先に常駐するFCが派遣スタッフを現場で手厚くフォローすることで、未経験者を短期間で育成できるだけでなく定着率の向上にもつながり、顧客満足度の向上とシェア拡大につながっています。

[当第3四半期連結累計期間の経営成績]

主力のコールセンター業務においては、新型コロナウイルス感染症に関連したスポット案件の終了が想定よりも早いペースで進みました。大型案件の終了は今回でほぼ一巡し、わずかながら需要回復の兆しは見えてきているものの、当第3四半期の売上はさらに落ち込むこととなりました。販売支援業務については、通信キャリア関連の派遣ニーズの回復が依然として遅れているため、人手不足が深刻となっているインバウンド関連の営業に注力しました。その結果、ホテルや空港関連の案件の獲得が進みましたが、当第3四半期における売上寄与は限定的となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,331百万円（前年同四半期比19.7%減）、営業利益は992百万円（前年同四半期比24.9%減）となりました。

2023年11月期第3四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高 (単位: 百万円)	2022年11月期 第3四半期	2023年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	20,116	19,414	△3.5%
ビジネスソリューション事業	7,243	9,082	25.4%
人材ソリューション事業	12,873	10,331	△19.7%
調整額	△96	△61	－%
合計	20,019	19,352	△3.3%

営業利益 (単位: 百万円)	2022年11月期 第3四半期	2023年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	3,375	3,297	△2.3%
ビジネスソリューション事業	2,053	2,304	12.3%
人材ソリューション事業	1,322	992	△24.9%
調整額	△1,100	△1,240	－%
合計	2,274	2,056	△9.6%

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末から325百万円減少し、6,731百万円となりました。人材ソリューション事業の売上減少に伴い売掛金が438百万円減少しております。一方、新規農園開設準備に伴う商品が181百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末から2,895百万円増加し、12,868百万円となりました。障がい者雇用支援サービス拡大のため、株式会社エスプールプラスにて、新規農園の建設や既存農園の増設をしており、有形固定資産が2,629百万円増加しております。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末から681百万円減少し、6,495百万円となりました。短期借入金の返済により50百万円減少しております。長期借入金の追加借入に伴い1年内返済予定の長期借入金が485百万円増加しております。また、税金の支払いにより未払法人税等が554百万円、未払消費税等を含むその他が325百万円、それぞれ減少しております。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末から2,499百万円増加し、4,923百万円となりました。長期借入金の追加借入及び返済により2,221百万円増加しております。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益により1,385百万円増加し、一方、第23期期末配当により632百万円減少し、8,181百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年1月12日に公表いたしました2023年11月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,212	3,128
売掛金	3,441	3,003
商品	94	275
その他	313	329
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	7,056	6,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,939	10,096
その他(純額)	1,189	1,661
有形固定資産合計	9,128	11,758
無形固定資産	60	68
投資その他の資産		
繰延税金資産	51	67
その他	732	974
投資その他の資産合計	784	1,042
固定資産合計	9,973	12,868
資産合計	17,030	19,600
負債の部		
流動負債		
買掛金	261	287
短期借入金	3,450	3,401
1年内返済予定の長期借入金	228	714
未払法人税等	633	79
未払費用	1,428	1,245
賞与引当金	159	79
その他	1,014	688
流動負債合計	7,176	6,495
固定負債		
長期借入金	959	3,180
繰延税金負債	148	259
資産除去債務	1,283	1,466
その他	33	16
固定負債合計	2,424	4,923
負債合計	9,601	11,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	372	372
資本剰余金	246	246
利益剰余金	6,819	7,572
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,437	8,190
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益累計額合計	0	△0
非支配株主持分	△8	△9
純資産合計	7,429	8,181
負債純資産合計	17,030	19,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
売上高	20,019	19,352
売上原価	13,548	12,726
売上総利益	6,470	6,626
販売費及び一般管理費	4,195	4,569
営業利益	2,274	2,056
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	19	83
その他	1	2
営業外収益合計	20	85
営業外費用		
支払利息	21	28
その他	1	0
営業外費用合計	23	28
経常利益	2,272	2,113
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産除却損	23	13
特別損失合計	23	13
税金等調整前四半期純利益	2,253	2,100
法人税、住民税及び事業税	720	621
法人税等調整額	64	95
法人税等合計	784	716
四半期純利益	1,468	1,384
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	24	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,444	1,385

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	1,468	1,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	—
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	15	△0
四半期包括利益	1,484	1,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,460	1,384
非支配株主に係る四半期包括利益	24	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,201	12,817	20,019	—	20,019
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	41	55	96	△96	—
計	7,243	12,873	20,116	△96	20,019
セグメント利益	2,053	1,322	3,375	△1,100	2,274

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,100百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,101百万円及び調整額0百万円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,042	10,310	19,352	—	19,352
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	40	21	61	△61	—
計	9,082	10,331	19,414	△61	19,352
セグメント利益	2,304	992	3,297	△1,240	2,056

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,240百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,240百万円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。